



# サービス方法論 ISO 45001:2018

職業上の健康と  
安全 (OH&S) 管理  
システム

## ISO 45001:2018 の概要

ISO 45001:2018 は、組織がさまざまな方法で環境パフォーマンスを向上できるよう支援します。資源の有効活用と無駄の削減で競争優位性と信頼を獲得  
関連する利害関係者の意見と要求事項

- 健康と安全の問題に対する責任を組織全体の計画の一部として統合する
- 環境問題を統合的な方法で特定、管理、監視、制御する。
- 組織は、大気など、その事業に関連するすべての環境問題を考慮できます。公害、上下水道問題、廃棄物管理、土壌汚染、気候変動緩和と適応、資源の利用と効率。

## キックオフ

キックオフミーティングは、プロジェクトの実行に関するコミュニケーションと計画を立てるための重要なツールです。障害を最小限に抑え、計画された時間とコスト内でプロジェクトを完了します。

キックオフミーティングの議題は次のとおりです。

- プロジェクト計画のディスカッション - これには、責任と責任についてのディスカッションが含まれます。利害関係者。プロジェクトのマイルストーンと成果物
- サービスの範囲と認証の範囲
- 法的および規制上の要件

## コアチームの創設

- OH&Sリーダーの任命
- 安全委員会の任命
- 内部監査人の任命

## ギャップ分析

このフェーズでは、ギャップ分析を実施して、現在の実践がどれだけ当てはまるかを確認します。要件に沿っています。あなたの現在の実践は、次の4つの基準に照らして検証されます基準。

- ISO 45001:2018 標準要件
- 法律、法定、規制上の要件
- クライアントの要件
- 内部ポリシーと手順

この分析の結果は、ギャップ分析レポートの形式で表示されます。このレポートは機能しますプロジェクトのリマインダーのアクション アイテムのリストとして。

## 労働安全衛生意識トレーニング

OH&S 意識向上トレーニングが貴社の従業員に対して実施されます。トレーニング このセッションは、従業員が知識を獲得し、ISO 45001:2018 の概念を理解できるように支援することを目的としています。より安全で危険のない作業環境の実現に向けてプロセスと実践を調整します。スタッフがトレーニングを受けていれば、目標達成に向けて考え、行動し、貢献することができます。

## 危険の特定とリスク 評価（平）

リスク管理手順は文書化され、リスク管理の参考として使用されます。すべての部門責任者と協議してリスクを特定しました。当社は ISO 31000 技術を使用して特定します。特定されたリスクを文書化し、優先順位を付け、定量化します。このステップでは、HIRA レジスタを作成します。適切な緩和計画は、ハザード管理の階層 (リスク) を使用して特定されます。管理 - ESEAP) は、リスクレベル、重大度、可能性に基づいて行われます。そのような結果は、アクションは計算され、記録され、評価され、文書化されます。

## 文書化

当社の専門家が、ポリシー、プロセス、SOP、作業指示書、および必要な記録をリストアップします。ISO 45001:2018 に従って定義および文書化されています。各部署と協議し、機能責任者は必要な文書を作成します。これにSOPが続きます。チームが情報を操作して記録するために使用できる記録テンプレート。

## コントロールを確立する

ポリシー、プロセス、SOP が文書化され、記録のリストが作成されると、収集された情報がリストされ、担当者が特定され、そのような活動について訓練を受けています。その場合、そのようなプロセスの効率を運用、監視、およびレビューする必要があります。


## 内部監査員研修

ISO 45001:2018 内部監査人 (IA) トレーニングは、特定された担当者に提供されます。このトレーニングでは、そのような担当者が IA の必要性を分析し、IA を計画およびスケジュールし、準備できるようになります。チェックリストを監査し、IAを実施し、観察結果を文書化して上層部に報告する 管理。

## 内部監査


当社の専門家が、御社の内部監査チームによる内部監査の実施を監督します。これ内部監査は、システム内にまだ存在するギャップを特定し、そのレベルを実証します。認証監査に直面する準備。この監査は組織に次の機会を与えます。認証監査に進む前に、すべての不適合を特定して修正してください。

## 根本的な原因 分析 (RCA) および是正措置



内部監査、顧客または第三者の監査中に特定されたすべての不適合、またはリスク評価、顧客からのフィードバック、苦情、社内および社外の問題、毎日の散歩およびその他の情報源をリストし、手法を使用して RCA を実行する必要があります。5Why や Fish-Bone メソッドなど。最適な修正と是正措置は次のとおりです。が実施され、そのような措置の有効性が文書化され、レビューされます。是正措置報告書 (CAR)。当社の専門家が貴社のチームに同行し、ガイドします。プロセス。

## マネジメントレビュー ミーティング (MRM)



MRM は、すべての OH&S 関係者が予定された間隔で集まり、レビューを行う機会です。以下の議題について話し合い、行動を計画します。

- ヒラ
- あらゆる情報源からの監査結果と不適合。  
未解決の項目を解決するためのアクションプラン。
- 事故、事件、ニアミスのシナリオ
- システムの改善
- リソースとトレーニングが必要
- システムに必要な改善と変更の機会

## 認定審査: ステージ 1

準備レベルが適切なレベルに達すると、認定プロセスが開始されます。が始まります。認証機関 (CB) の任命された監査人は、次の方法で準備状況を検証します。ステージ 1 監査。これには、監査人がポリシー、プロセス、SOP、HIRA、重要な事項をレビューすることが含まれます。運用記録、IA および MRM 記録。CB の期待から大きく逸脱すると、この時点で必要な修正を行うよう通知されます。これにより、次のような可能性が減ります。認証監査中の重大な不適合。TOP認証者はすべての者と連絡を取り合います 利害関係者と連携し、監査が円滑に完了するよう監督します。

## 認定審査: ステージ 2

ステージ 1 監査が正常に完了すると、監査人は詳細な監査を開始します。組織の QMS システムの実践と文書化。TOPCertifier は次のようにします。監査の要件について従業員を訓練し、自信を持って監査に臨むことができるようにします。私たちの 専門家が立ち会い、システムの円滑な機能に必要なあらゆる手段を支援します。監査。TOPCertifier は、貴社のチームが調査中に特定された不適合を解決できるよう支援します。監査。認証監査が正常に完了すると、TOPCertifier はすべての担当者と連絡を取り合います。関係者が最終証明書を起草、承認、発行します。

## コンプライアンスの継続

TOPCertifier は、組織のコンプライアンスへの取り組みの一部となり、定期的なコンプライアンス遵守を支援します。必要なトレーニング、システムのサポートと更新、内部および外部の監査の間隔 そして定期的に認定を更新します。